

## 故須之内品吉先生追悼の辞

故須之内教授が本学に再任されたのは昭和十八年四月でありました。爾來、八十二才の高令で、ご逝去になるまでの二十有余年間、本学経済学部教授として商法の講義を講じられてきたのであります。

故教授は、愛媛県松山市に生れ、明治四十年に立教中学校を卒業、大正三年に東京大学法律科を卒業されたのち、さらに大学院において商法を専攻され、商法研究のため欧米にも留学されました。そして本学に赴任される以前、長く法曹界でご活躍になり、同時に、衆議院議員、会社々長などをご歴任になっており、すでに政界や経済界にも少なからざるご貢献をなされたのであります。

本学に赴任された故教授は、こうした多年のご研鑽と豊富な人生体験をもって若い学生たちに接しておられ、その慈父のような愛情と壮者をしのぐ熱血正義のご薫陶は、学生たちに深くきざみこまれております。また故教授は、在職中、本学々監や立教学院常務理事などの枢要な職務にもつかれ、本学の発展のためにも多大の貢献をされたのであります。

昨年暮、ご高令とはいえ、思いがけなくも急逝されたことは、法曹界ばかりでなく本学部のためにも、まことに痛惜に耐えないところであります。ここに故教授の遺影を掲げさせていただき、心からなる感謝と哀悼をささげ、つつしんで故教授のご冥福をお祈り申し上げるしだいであります。

昭和四十一年五月

経済学部長 三宅義夫